

# 第10回 全国和牛能力共進会 和牛の祭典 in ながさき

10月29日、ハウステンボスをメイン会場に開催された「第10回全国和牛能力共進会」(和牛の祭典 in ながさき)の閉会式が行われ、各道府県の威信をかけた5日間に及ぶ熱い闘いが幕を閉じました。

長崎県勢は肉牛の部で最高賞に当たる内閣総理大臣賞(名誉賞)を初受賞したほか、全9区で優等賞を獲得。本県が優れた和牛生産地であることを内外に広くアピールしました。

期間中のハウステンボス会場への来場者数は目標の31万人を大きく上回る41万4千人。連日多くの皆さんが訪れ、200を超える露店には長蛇の列がいくつものことができるなど、大いににぎわいました。

大会開催にご尽力いただいた関係者の皆さん、素晴らしい牛たちを育てていただいた生産者の皆さん、そして会場に足を運んでいただいた皆さん、本当にありがとうございました。



## 緊迫感漂う審査会場

1 代表牛を丁寧に手洗いする生産者の皆さん 2 足の先まで手入れの行き届いたスーパーエリート牛 3 手入れは審査の直前まで念入りに行われます 4 審査員の厳しい目で評価される長崎県の代表牛 5 真剣な表情で審査の様子を見守る来場者の皆さん 6 種牛の部最終審査で内閣総理大臣賞を受賞し、ガッツポーズで喜びを表す宮崎県チームの皆さん。宮崎県は口蹄疫で大きな被害を受けましたが、本大会では9部門のうち5部門で優等首席を獲得するなど復興を強く印象づけました 7 審査会場に整列した各県の代表牛



第15回YOSAKOIさせば祭り  
過去最多となる171チーム約7,000人の踊り子が参加した「第15回YOSAKOIさせば祭り」(10月19～21日)。市内14会場で熱い演舞が披露され、期間中の人出も昨年より約2万人多い約27万人となりました。最終日に行われたファイナルステージには、予選を勝ち抜いた21チームが進出。激戦の末、大賞は平均年齢10歳(6歳～高校生)という若さで旋風を巻き起こした「美勝女隊」(佐賀県基山町)1が初受賞し、準大賞はNNP(唐津市)2と長崎大学「突風」(長崎市)3がそれぞれ受賞しました。



## 佐世保くんち

11月1日、亀山八幡宮の大祭「佐世保くんち」が始まり、ご神体を乗せた「御神幸行列」などが市中心部を練り歩きました4。奉納踊りは、下京町が「佐世保囃子」5を、木場田、高砂、天満、谷郷、相生、浜田の6町が合同で「おまんた囃子」6を披露。ことしは米海軍佐世保基地の隊員の妻などで作る「佐世保インターナショナルレディークラブ」も初参加し、着物姿で「させば音頭」を踊り、祭りに花を添えました7。



# 41万人が体感。おいしい！楽しい！和牛の祭典！



9 開会式に出席するため本市にお見えになり、九十九島水族館を視察される常陸宮ご夫妻(24日) 10 露店の店先でおいしそうに焼き上がる「土佐あかうし」の牛串 11 露店にできた長蛇の列 12 「トッテモオイシーデス！」とブランド牛を試食する来場者 13 七輪の炎が食欲をそそる長崎和牛バーベキューコーナー 14 おいしいお肉には自然と笑顔がこぼれます 15 明るい笑顔で長崎和牛を販売するスタッフの皆さん 16 畜産飼料をPRする関係者 17 本市企画の長崎和牛プレゼントに応募する親子連れ。946通の応募があり、10人の当選者には11月中旬に発送予定です 18 次回開催地・宮城県観光PRキャラクター「むすび丸」 19 記念講演会「口蹄疫130日の闘い」で講師を務めた宮城県西都市の橋田和美市長(26日、アルカスSASEBO) 20 肉牛の部に出品された枝肉のセリ市が行われた体育文化館(28日)

# 長崎県勢大躍進！肉牛の部 内閣総理大臣賞は長崎県！



## 最高賞である内閣総理大臣賞を受賞した長崎県チームの皆さん

1 「みんなで勝ち取った結果です。努力が報われてうれしい」と話す渡部英二さん(長崎市) 2 「関係者の皆さんの地道な努力に感謝します」と話す喜々津昭さん(東彼杵郡川棚町) 3 「これまでの苦労が吹き飛びました」と話す古川繁信さん(島原市)。古川さんは雲仙・普賢岳の噴火災害で3代続いた葉タバコ栽培を断念。畜産農家に転身し、知人などの協力を得ながら20年をかけて今回の受賞となりました



4～7 第7区で優等賞3席を受賞した長崎県チーム(平戸市)の皆さん 8 第4区で優等賞4席を受賞した長崎県チーム(五島市)の皆さん